

V. 研修・出張報告

1. 第52回東海・近畿地域大学附属農場協議会（担当：石川県立大）

津本 光貴

開催期日：2011年7月28日～29日

開催場所：白山芭蕉亭（石川県山代温泉）

1) 会議内容

(1) 2012年地域協議会当番校の選出

2012年地域協議会当番校として本学近畿大学が選出された。

(2) 本年度アンケート調査結果

3月11日の東日本大震災の惨事を受け、災害時における各大学間の連携についてアンケート結果を基に課題と問題点について協議された。

(3) 附属農場等技術職員の資質向上に役立つ大学間交流について

本年度については、各大学による交流の可能性とその問題点について協議された。

2) 技術等発表講演会

「カキ‘大秋’のマルチ灌水処理が収穫果実の品質に及ぼす影響」（京都大学）、「ジベレリン処理時期がデラウェアブドウの果実品質に及ぼす影響」（石川県立大学）、「岐阜大学農場における特別支援学校生の活動とその評価」（岐阜大学）、「キンジソウの着色向上の試み」（石川県立大学）の各担当者から発表された。

3) 現地見学

(1) 加賀フルーツランド（加賀市）見学

多くの農家によって組織されていて、イチゴ、ナシ、リンゴおよび石川県が育成したブドウ品種の‘ルビーロマン’の栽培ほ場を見学した。

(2) 金沢市農業センター（金沢市）見学

石川県立大学附属農場を見学した後、金沢市が農家をはじめとする市民が広く利用することを目的に設立された施設内で概要説明があった。その後、ハウス栽培の加賀野菜（金時草、ヘタ紫ナス、打木赤皮甘栗かぼちゃ等）を見学した。



写真 加賀フルーツランド



写真 ヘタ紫ナス
（金沢市農業センター内にて）

2. 全国大学附属農場協議会秋季全国協議会

文室政彦

開催期日：2011年11月14日～15日（担当：山口大学）

開催場所：西の雅 常磐（山口市湯田温泉）

1. 会議内容

(1) 報告事項

第124, 125回農学系学部長会議における意見・要望について、東日本大震災で被災した大学農場の復旧のための予算措置、農場の教育関係共同利用拠点での必要な予算措置と施設整備、実習教育の質保証のための教職員の配置と予算措置などが要望された。

日本農業技術検定制度について、2級の実技試験では農場の技術職員は免除される。今年度から全国大学附属農場協議会が運営委員として参加し、1級受験については、当協議会が中心となり、今年度中に大学生の実技試験受験要件の素案を策定する。

その他、技術職員等意見交換会、技術職員集会、東日本大震災復興支援にかかる専門委員会の活動、全国大学演習林協議会との情報交換および6次産業化アンケート調査結果が報告された。

(2) 協議事項

「附属農場におけるフィールド教育の質保証の基準化について」では、農場実習の質の向上をはかるために、翌春までに実習教育の基準を策定する。各大学附属農場の専任教員に協力が要請された。

(3) 承合事項

大学農場予算削減状況についてのアンケート結果が報告された。農場運営予算は、共通的な削減率の適用が最も多い。削減率は平成16年度比で1～2割減、予算経費では、契約職員経費の削減が多い。また、教育関係共同利用拠点校における事業実施の概要、課題および展開について、宇都宮大、東北大および広島大からそれぞれ報告された。

3. フードテック 2011 国際食品産業展 2011 大阪

岸 昌生

開催期日：2011年9月7日～9日

開催場所：インテックス大阪

展示内容：昨年度に引き続き、フードテック2011において湯浅農場および生石農場の生産物を展示した。生石農場からは、「近大おいし牛」と「近大おいし鴨」のシリコン製サンプルを展示してアピールを行った。来場者は昨年同様に多数あり、とくに農産物の卸業者から出荷の依頼があった。今後も本展示会には参加して農場産物の販売拡大に貢献していきたい。



写真 フードテック2011での展示模様